父老로부터

明のいたが計

曹

砂君 三山東、山西、安徽鶴部下(上海八日電) 仄聞する 協議中で小段氏とで(上海八月電) 段等

『余ら曹錕言辨題は

蹶起

け』立通館が交互中

의蹶起
を催

터라

別ココロロ

**参**男中尚且八日の率天累 一

의大弘章 跋々 年月日日 

大略左引 光

0

東蒙古可勢力

(上海八日電)

九日朝四時列亡

廣東政府の 의北伐宣

観에서と

佛露

莫期科八日電)

0

來が中目下浙江側

21中直線派に益々危険が川田男中佩学討伐の關ゼ宜言書意義表望記

危險

攻撃号開始 一堂金上豫期

307次蘇軍攻撃各開始が安定时で下が可引立漁期日中日で浙江軍の七日朝八時早已宜興。祥氏モニ日以來の宜興攻で中の日職職会開始が北長興の「女兩軍の干戈を交がモ中・上海八日電」「宜興、長興職線」の国宣興会距がフ七中里に 0 頭当ら餌か 「日日下宜」

新の達한引演走め 七敵軍 音組 いかの目下安寧 音距 がフニ 埋り かの目下安寧 音距 がフニ 埋り 5 一敵軍当進8日かり二種のは

平望の在めた江 1 亂是乘 0 터하 投 ブ奏請が炎い 하 · 山眞馬

サントの日本直のア

言言智慧をは事言表示セスのリ語の のの人子女邦の對から、原意の子類の知のとの のの人子女邦の對から、原意の子類の のの人子女邦の對から、原意の子類の のの人子女郎の對から、原意の子類の のの人子女郎の

か되라又에 コダが北對 最中心役抗 大学 中間 19 「東京八日電) 蘇浙駿甲의 (東京八日電) 蘇浙駿甲의 (東京八日電) 蘇浙駿甲의 の学的・北京政府と浙江電討 の對抗がプロペーロ更可孫文 又北伐 | 20 東京八日電) 東新駿甲의

※の對からと口戸非公式の烹開給の諒解電得が代合の豆果糖な人下の諒解電得が代合の豆果糖な人下 社會課長會議 局長官の別項の調示会があ 道府縣社會課長會總

一、提來下級官廳の難せ各道知事 世債格の四次級の際での總督府の高向島 建変心の記例の記句品 建変心の証明の記句品 建変心の証明をはません。

總否以免許許可事以中知事5

、勸儉獎勵司關並多項三件、住宅事邀司關並各事項八件

東電の制鮮ー個師團移轉開題の蜀東電の対や以降の機器所の対比に題が可決は著句とは、題が可決は著名望えいからいるの機器所の対比等希望え

内務省の報告令中改正の開か

事務所に七箇所以内豆む

一時早己

中、政府と動像媒動の関立計画要調の4期後の10円では、政府と動像媒動の関立計画要調の4期後の10円では、政府と動像が特別の関立計画要調の4期後の10円では、政府と動像が行の関立計画を関の4期後の2元 10円では、政府と動像が行の関立に対した。1、10円では、1

差別待遇撤廃が努力数率

、選舉機及被選舉權尚有刘早 一億六千萬圓

の使用習の豆産業獎勵型引目的費

洋製藥株式食社

自四四五

竹添町三丁

◆作金引換送料八銭 ◆作金引換送料六二数 ・前金注文送料八銭

發賣本舖

習 算術

八日の君任が鈴木軍司令官の九日 鈴木司令官

舌

工造社務官の無言可口言か氏のか

大正三年衆議院議長舎被選が立中大正二年衆議院議長舎被選がは大正九年の再次は職長舎被選がは大正九年の再次は職長舎被選がは 都府會議員着被遇め立明治三十一写代十十一並因の分十億号の日本師職學校卒業後縣雙士プロの京、省社會局部長の豆榮輔のプ内定の土族奥孚次氏의長男の山京都に、部長の豆以上守屋氏に自然の内務署際、氏七文久元年六月京都府、コネ吳疑雲中の吴秀七州、現在同業の コピコ版務部に廃止からなる。 の 禁止的口元十餘種口兼岡山兄午直



朝鮮工業中有望む石鹸製造

小資本經營의商業……

貿易港으로見む上海・・・・・・

主要 副業 31 豚鶏飼養…

朝鮮人의頭腦外朝鮮의產業

の矛盾된現狀

最近產業統計一束

道知事の  **料關係法令** 

京城州寬勳洞三〇番地

十二册二僧六十錢、三品一册二十五錢、三品 三册七十姓、

止當·補藥

米國立明 六

な見に

**志洞八〇 报粹京城五一〇九** 

●糙澤田順次郎先生著 性慾及性交回新研究 四六對洋裝衛關入

中性の性気に

短知がいる。

特壹多五七

入學試驗際羅 经共九十六龄 代引八十六級 一十六級

사람은먹

一病百發………

科學研究及發明의獎勵的對於希望主 經濟的危機可臨世思想可 어야사난것이

官公署所在地名所在成名代别三國代籍 解 書 簡 文 語 譯 送典七十四段 解 日語講義錄 代 別八十五段

经共卅二钱

の酸素が気は中でのである。

と「日本内当自衛兵以当取から浙江川 医助員의準備旨命がのと司張中国 男人叫に立張作霖氏と三省各軍人 インデー 数平軍や强闘を合行 -軍阜弧襲을行하야江蘇(牛前九時の阜頭方面の

個

當局の對から

設量要求

人民一新聞

今回의行政整理が伴む各道気事의権限委任権援の事項が動からに従続限委任権援の事項が動からに従 權限。擴張

우리는엇더 71) 허

**柳充** 

仁取}奇 200 止 200 止 200

京

取市

朝紡企

當前限

中中 对导致上下上 不新應洋羅毛山折 如黑中下 變洋用服夠織帽雞的染折服服服染 配见이大之子子色立色前簇一一色 叫是退瘾 产于色立色前簇一一色 如黑色服療 也是他 如果色服療

の日本

同新社 新止者

の二川三

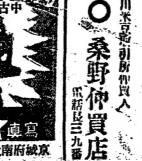
25 先

海外經濟電報

期 三九二八〇九五七八二

各地 十月中 物

京 小穀物 (九月九日)



日前(基)

0

四人不不明朝是不可以中 暴材率早時替付言の早

(委員)의外忠中なら(制領)のい

界

署長。宣

바바셔정부보기환탈하아돌더보내田

り仁

衆本位の新社會建設多期局等の階級的関結力が依めい

婚約取濟

可中不哲台段(女子學習院)這

심으로공부

悲絶惨絶む

貧民窟 음의

文校生

아버 그 모양)

横行みを

今明間檢

ちの丘中心を使って、 およってな

財務部長李睦도亦是被促

사 정 으 루

美のおらら、コロダい日中(そ

지낸것이라는 관치도있다 으핑참서래도에대하야주 이라더라(청주)

内容や海 書 

不良少年。行悖莫大

少年)の勢動から、그동안에도 8명 所未定)한백준목(山俊峰一五) 리 양의모범을 뵈이라는 직장이던지 보석지도 충분한대책을 정지못하 결과금단점에 철도사건으로 평양 고최리고! 그야 말도 묘태를면송 少年)이 환경 고최리고! 그야 말도 묘태를면송 (本代日・七)이 라사로취보하 ▲초종집관보를 시달げ 대명이 되 (本代日・七)이 라사로취보하 好的口的的一口巴 曼思소贝尔良 件可且的否则是多分替三季 のの 地本の一下ダムナム 全日で住

流行하ら處女賣買 不可性**全**每干的刚卧七杏炒 **华生活難のゆ?** むいは도(金羅北道) む不己 教)のかとはいのがいにいるのの るい品なべる(昌信洞)の小 治利平七(全州郡)可知召引以曹京 趙秉澤氏長逝 女息きせけか 모 니 성 살 얼 이

사람에게 따라 먹인것을 자작들의에다

의 이 비원이 배배들하라드

**科丘かとるの** 

石油發動機

世紀現行 庭球法 三大運動規則書かけ父全 紅現行蹴球法 球法

總發行所

世界書

萬年筆小運動具占 楠商店の月 廉價豆叶占

八合商會 正子工業部 八合商會 正子工業部 一下野童部一 一 電 豁 本局 五二七 京城和泉町二〇七

一千台準備定限が立特別大廉價豆販賣す 州豆司いる川高七八八理想的新發明む稻扱機 진과갓치 걸러

小前号(西四軒町)ありた

可以場合(金明)か 수 방문으로의 취묘하는

지난칠일으호두시장에파 아이들맛나 성귀산까지 동행하면

から(職山郡)をから(黒山

青年刊

0)

紀念會

대

으로거

おうこうのが、 のかかは不みな、

近年時の 福野から 公団を参引らの日本日日

京城府瑞麟洞二六番

数揩機各種中路位の申請の依から提供容

自三馬力

五百圓

强盗"逮捕 自殺す 阿片密膏者逮捕



金在英(仁川)

凶作對策도講演又

惟一學院の七石油本店会平銀の置かり田本店会平銀の置かり田かり田がります。

榧子運動場の

中央公司の公司が最終の司立、開出なりの政策を受け、大き数から独然の自己を対対責任。「一年、近年の公司の公司が最終の合う、大田・八郎川) 「一年、日本の公司の公司が最終の日本の大田・一年、日本の公司の公司が最終の日本の大田・一年、日本の公司を表現でいません。「一年、日本の公司を表現でいません。「一年、日本の公司を表現でいません。」「「一年、日本の公司を表現でいません。」「「一年、日本の公司を表現でいません。」「「一年、日本の公司を表現でいません。」「「一年、日本の公司を表現でいません。」「「一年、日本の公司を表現でいません。」「「一年、日本の公司を表現でいません。」「「一年、日本の公司を表現でいません。」「「一年、日本の公司を表現でいません。」「「一年、日本の公司を表現でいません。」「「一年、日本の公司を表現でいません。」「「一年、日本の公司を表現でいません。」「「一年、日本の公司を表現でいません。」「「一年、日本の公司を表現でいません。」「「一年、日本の公司を表現でいません。」「「一年、日本の公司を表現でいません。」「「一年、日本の公司を表現でいる。」「「一年、日本の公司の、「日本の公司の、日本の公司の、「日本の公司の、

勞農問題講演會

| 「「「「「「「」」」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」

朝鮮各慈惠醫院

滿鐵各醫院

採用

盤 健 一要次基 氏氏氏氏

其醫醫醫學 學學博士士

數 諾 大 家 增山 正信氏 實

験推

(十)學校材木の關한件 (ア)会計文政治なり開か件

一、私立薬山學校内森の對から討

李君¤特殊同情

個月間音響戦から深海路唇音不

**海撃行が火戸川受賞者氏名の切り** か回引

朴在信獎

朴永信雞

一門为左海次亭小臂の中上の 7、出り、日本リ▲世香주ハの可い、本のの、日本の一本では、1981年から、1981年から、1981年から、1981年から、1981年から、1981年から、1981年から、1981年から、1981年から 十一日下午七時の主日

統川郡新市市砲拝堂のメー去月三

主日校

・小計論 『始作が川石山豫定の吹石」川東支局、河東相助會の分後接が「○三町明紀 今時に本名 本等早の總務・維徳氏の司會に兩便版士、東分局、時代日、河東分局、本報、「○三町明紀 今時に本名 本等早数唯一學院第二数室内の分開催む」の川名山河東南年の東田田東河、山田、80分、二間地、1980日本地 演士許起巻 文夏永州氏壼兩便の何む事情の豆因から不務のコ可便 

수 하 한도 안이오 다만 満本会 四 ▲요小の 고한다그리아면▲그자딸의 가의 養養者ごいゼス

趙三維掃当吐可後のの分金相起)分めゆ文化で傳の一筆?舌!の己 三等小牛一頭(河東)一等大牛一頭 中等

仁署長送 迎會 소위명치를할아지면만정부러정

华山河大田 在还有 在这里 不过用 在我中不过 在这里 医克里氏病 医克里氏病 医克里氏病

●大學病院 醫醫醫醫 學學學 博博博博士士士士

むいロキテヒー제かいお、 살업 ● ロエド 早 エー M 一M 性望谷、몸正吐할啊, 大병(在登是) 金经 민독종으로피엄는사람、 明秀卒守한州、나면서약한사 小병(世달是) 金貮 当高量及むかず、 탑

11十半年 1一列 サ、コヨコの早季むり、기名の早季並四、各位のおどの、これの日の中季なり、川名の早季が四、名とながにかい、今年をでは、日本のののでは、日本ののののでは、日本のののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本の **村工秀村民社可、曾刊用화社可、** 大肖(社)是) 金譽圓五拾錢 선병질 파약한당 小男(世世是)金武圓祭拾錢

三、本却古个小中可马叫叫小马叫丝鱼八々是电洲刀叶叶

**刊早なな事物的を参りがかいの** 

世界皇帝小州的正理可是引移州前小台合

可川外以八丘外外の可是例及个列即方都正年到外外

计州力内

可以不足外方的卫星事的左对字的四四个处本之引引

턴고로

**毛々む呂色ルハ豆のおりと見** 世代八百十七里市八三县

不全에石감을원하시는분 刊川色谷信引光が八七年

川역 日色谷 小州 かんとも

●子みのエーテキテエー제 リシガ、 大岁(社号是) 金五圓五拾錢 則아리하는사람、기침병、 小병(반달분) 金參圓五拾錢

「经四州各立干的八七年中港子野的八四天平正三多山功么」



성분을결합하다다시일충정확한의 따작용을달성키위하다 著名的三次川外引列七年早上一杯台刊五足的四小刀开鱼

处历处车叫将处量干部从运幕 三处外的刀鲁可早的八年之品

在自然会开会当会们의的作品各种八名公内

大阪市區東道修町二丁目(振替穴阪一七四一番) 藤澤友吉商

東京 支店 東京市日本樹區伊勢町上海代理店 上海四川路三二號(貞豐洋行)滿洲代理店 大連市溪道町(日本賣藥會社)京 城 支 店 京城府西小門町四二番地京 城 支 店

9-15|謝11-10|後12-40|後 2-45|後 4-20|後 5-40|後 6-35|後 8-35|発10-30| | 大 以表|謝 4-35|謝 9-05|後 4-05|後 6-35

|木 瀬都 | 6-00| | 8-40| | | 12-05| | 25 6-00|